

12月8日の宵、土星が上弦の月に隠される「土星食」を観測した。この天文現象が見られるのは、2002年1月24日以来、実に22年ぶりである。当日は強い冬型の気圧配置となり、上空の気流が乱れて観測条件はあまり良くなかった。庭先に観測機材を設置し、天文誌に掲載されている予報を見ながらその時を待った。



2024.12.08 小山市間々田 NikonD600 BORG600mm x1.4Telecon ISO1250 1/125sec 4分インターバル

ガイドスコープを通して月に徐々に近づいて行く土星を確認しながら撮影を開始した。そして18時21分53秒、土星が月の影の部分に入り始めた。この時刻は、東京での予想時刻より2分41秒遅れている。我家が東京から60Kmほど北に位置するためと考えられる。撮影した写真をパソコンに取り込んで拡大してみると土星の輪も確認できる。



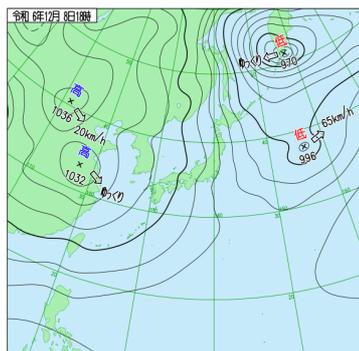
潜入直前4分間隔で撮影した土星

次に土星食が見られるのは

- 2037年1月5日 北海道のみ
- 2037年2月2日 東北以南
- 2037年3月28日 全国

気温が急激に下がり、防寒具を着込んでの観測だった。でも満足出来る結果が得られ、貴重な体験ができた。

次のチャンスまでは元気で観測を続けたい。 — 終 —



当日の天気図

東京			
18時19分12秒	潜入開始	月の高度	44.2度
18時20分28秒	潜入終了	月の高度	44.1度
19時00分44秒	出現開始	月の高度	41.1度
19時01分58秒	出現終了	月の高度	41.0度

「天文ガイド」より



観測機材